

備前市高齢者保健福祉計画・備前市第7期介護保険事業計画  
に対する意見募集について

意見募集期間 平成30年1月4日～平成30年1月31日

意見募集結果 2件(1名)

意見等の要旨	市の考え方
<p>前期の計画に「介護・介助が必要になっても外出ができる移動支援が望まれます」とあるが、この課題解決に対して、何が計画され、実行され、成果を出したのか。また、この現状は誰が把握しているのか。</p>	<p>通院や買物の移送サービスにおいては、利用者の状態に合った介護・介助や福祉車両による移送など細かな対応が必要と考えますが、現行のタクシー事業者等が行うことのできる介助には限界があり、すべての利用者のニーズへの対応は困難と考えます。</p> <p>社会福祉協議会の福祉有償運送事業において、新規利用の募集を打ち切ったことは市の保健福祉部の各担当課が認識しています。以来、これに代わる新たな移送サービスを住民主体で実施できないか、社会福祉協議会やNPO等の関係機関と協議を行ってまいりましたが、道路運送法をはじめとする法令上の制約や人的資源の確保の課題があり、残念ながら実現には至っておりません。しかし、他市町村の事例などを研究しながら早期実現に向けて引き続き取り組んでまいります。</p>
<p>計画策定にあたり、会議の傍聴や議事録、策定委員メンバーは公開されているのか。</p> <p>市の事業を計画するには高齢社会の地域の具体的な課題を集約・分析し、解決にむけて関係者が話し合い役割分担や段取りを行い、必要な予算を計上し関係者が目標にむけて実行し、実行された結果を評価するプロセスの連続で、それが文章として市民に情報として共有されるべきものである。</p> <p>計画は高齢社会のこの地域のまちづくりそのものである。</p> <p>これは策定委員会だけで検討、作成できるものではなく、行政や</p>	<p>現在、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会では会議の傍聴は行っておらず、また、議事録、策定委員会メンバーについても公開しておりません。しかし、ご意見のとおり、市民の皆様や事業所等と情報として共有しながら計画を策定するためにも、出来る範囲で議事録を公開する方向で検討し、会議の傍聴については関係者の意見を取り入れながら検討していきたいと考えています。</p> <p>将来にわたって、市民の皆様が健康で心豊かに可能な限り自立して暮らせるまちにするためには、医療や介護だけでなく、住まいや移動、買い物など複合的な視点からの環境づくりや仕組みづくりが重要です。そのため、市は人口減少と高齢化によって生じるさまざまな地域課題の克服を踏まえた将来のまちづくりのビジョンを示すとともに、実現に向け</p>

事業所、市民がお互いに顔の見える関係をつくり、情報を共有することで課題や目標を共有し、作られるものである。

第8期、第9期計画では市民、市内の事業所とのネットワークをつくり、まちづくりの計画と連動した市の計画をたてて欲しい。

てあらゆる市民の皆様の参加を求めることが必要と考えています。このような介護保険事業計画だけに収めることのできない、行政・民間事業者・市民による協働の取組指針を「地域福祉計画」に取りまとめることとして、現在その策定作業を進めています。同時に、社会福祉協議会において民間の活動計画「地域福祉活動計画」の策定作業を進めていますので、市民や関係団体、事業所等との協働のもと、ご意見にありましたような住みよい地域づくりを着実に進めてまいりたいと考えています。

次期計画にむけては、市の上位計画である「第二次総合計画」や「地域福祉計画」における地域福祉の推進施策をふまえ、市民の皆様や関係団体、事業所等とのネットワーク作りに取り組みながら、広く市民の意見を取り入れた計画策定に努めてまいりたいと考えています。